

八工大が「学生とシニアの対話」

原子力、エネ問題議論

八戸工業大学は17日、同大メディアセンタ―で、経済産業省から事業採択されている「チャレンジ原子力体感プログラム」の一環として「学生とシニアの対話in八戸」を開催、学生と原子力関係者が原子力産業やエネルギー問題をめぐって議論を交わした。

会シニアネットワーク運営委員の小川博巳さんが、エネルギーの国際動向や原子力施設が集積する青森県内の現状について紹介。「原子力の技術を皆さんがしっかり引き継いでほしい」と訴えた。

桑デー、業績予想下方修正

3期連続の赤字見通し

桑デー（八戸市）は17日、2010年2月期の業績予想（連結）について、当初予想していた当期純損益を、8400万円の黒字から1億9千万円の赤字に下方修正すると

この日は学生37人と、電力会社や原子力プラントメーカーのOBら15人が参加した。基調講演では、元東芝社員で日本原子力学会シニアネットワーク運営委員の小川博巳さんが、エネルギーの国際動向や原子力施設が集積する青森県内の現状について紹介。「原子力の技術を皆さんがしっかり引き継いでほしい」と訴えた。

桑デー（八戸市）は17日、2010年2月期の業績予想（連結）について、当初予想していた当期純損益を、8400万円の黒字から1億9千万円の赤字に下方修正すると

デ-9-東北(2010年2月10日朝刊(金))

基調講演では、元東芝社員で日本原子力学会

シニアネットワーク運営委員の小川博巳さんが、エネルギーの国際動向や原子力施設が集積する青森県内の現状について紹介。「原子力の技術を皆さんがしっかり引き継いでほしい」と訴えた。

桑デー（八戸市）は17日、2010年2月期の業績予想（連結）について、当初予想していた当期純損益を、8400万円の黒字から1億9千万円の赤字に下方修正すると